SEISEN UNIVERSITY
清泉大学
清泉大学短期大学部

清泉大学大学院

看護学研究科 看護学専攻

＜ 修士課程 ＞

看護学研究科の特徴

Point ❶
長期履修制度

就業者の修学を時間的、経済的にサポートする学びの仕組みです。通常の2年間の修了期間に加えて3年もしくは4年間での履修を選択することができます。学費は在学期間に合わせて分納となります。

Point ❷
充実の学習環境

長野駅より徒歩1分の好立地のため、県内外へのアクセスは抜群です。清潔感のある校舎には院生室や専用のパソコンもあり、設備が充実しています。

Point ❸
個別の状況に即した学修・研究の支援

個々の研究や修学状況に合わせ、学生が学修・研究を進められるよう支援します。また、学修・研究の深化を目指して、両コースの教員や学生との活発な討議の機会を提供します。

■ 研究科長メッセージ

看護学研究科 研究科長
舟島 なをみ

あらゆる事態への対応を可能にする強固な看護学的基盤の確立

現在、世界中の人々がこれまで経験したことのない事態に直面し、看護職者は常にその最前線での活動を求められています。どのような事態であっても最善の看護を提供するためには、強固な学的基盤が必須であり、そのための一手段として大学院への進学があります。

本学大学院看護学研究科修士課程は、2021年4月に開設され、豊かな研究能力と看護実践力の修得を目指す「修士論文コース」、院内教育リーダー（Chief Nurse Educator：C.N.E）に必要な能力の修得を目指す「特定課題研究コース」から構成されています。両コースの大学院生は、各コースの目標達成に向け学習、研究に邁進しています。

■ 3つのコース

修士論文コース

「発達・ヘルス支援看護学」と
「包括ケア看護学」・「看護基盤科学（設置予定）」
の3つの領域で、
看護職者・指導者を育成します。

修士論文コースの詳細・
カリキュラムはコチラ →

特定課題研究コース

日本初 **院内教育リーダー養成課程**

日本初の院内教育リーダー養成に特化した
研究コースが長野に誕生。
学的基盤に立脚した院内教育の実現にむけて、
院内教育リーダーを育成します。

特定課題研究コース
院内教育リーダー養成課程の
詳細・カリキュラムはコチラ →

県内初 **保健師養成課程** NEW

**2025年4月、長野県で初となる
大学院に保健師養成課程を開設**

長野県で初めての大学院における
保健師養成課程を特定課題研究コースに設置し、
科学的根拠に基づいた高度な実践力を身につけた
保健師を育成します。

特定課題研究コース
保健師養成課程の
詳細・カリキュラムはコチラ →

■ 研究科概要

キャンパス
長野駅東口キャンパス（JR長野駅東口から徒歩1分）

修業年限
2年（長期履修制度があります）

取得可能学位
修士（看護学）

入学定員
8名（男女）

●お問合せ
清泉大学　長野駅東口キャンパス　事務部　TEL：026-219-1650　E-Mail：mailto:pilar@seisen-jc.ac.jp

修士論文コース

「発達・ヘルス支援看護学」と「包括ケア看護学」・「看護基盤科学」の3つの領域で、研究を基盤とした活動を具現化できる看護職者・指導者を育成します。

発達・ヘルス支援看護学
発達の段階に応じた看護実践・応用力習得

包括ケア看護学
多様な看護実践の場で活きる専門力開発

看護基盤科学
研究力の基盤となる実践的知識の修得

特徴1

特徴ある2つの領域があり、自ら学びたい領域を選ぶことができます。

特徴2

2つの領域ごとに演習を行いますが、定期的に合同で発表会を行い、学生や教員から幅広く意見を聞くことができます。

特徴3

研究計画発表会、中間報告会などの段階を経て修士論文の完成を目指します。その過程に全教員がかかわります。

■ カリキュラム

区分		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業形態
共通教育科目		生命倫理特論	1	1		講義
		健康管理特論	1	2		講義
		看護理論特論	1・2	2		講義
		看護倫理学特論	1・2	2		講義
		コンサルテーション論	1・2		2	講義
		フィジカルアセスメント特論	1・2		2	講義
		家族看護学特論	1		2	講義
		看護管理特論	1・2		2	講義
		看護教育学特論	1・2		2	講義
		データサイエンス	1	1		講義
専門教育科目	発達・ヘルス支援看護学	成人期・老年期看護学特論	1		2	講義
		小児期看護学特論	1		2	講義
		ウィメンズヘルス看護学特論	1		2	講義
		発達・ヘルス支援看護学演習	1		4	演習
	包括ケア看護学	在宅看護学特論	1		2	講義
		精神看護学特論	1		2	講義
		災害看護学特論	1		2	講義
		包括ケア看護学演習	1		4	演習
	看護基盤科学	感染制御学特論	1		2	講義
		スピリチュアルケア特論	1		2	講義
		看護基盤科学演習	1		4	演習
研究科目		看護研究方法Ⅰ	1	2		講義
		看護研究方法Ⅱ	1	2		講義
		看護特別研究	2	12		演習

■ 修了要件

必修8科目24単位（共通教育科目5科目8単位、研究科目3科目16単位）に加え、専門教育科目2科目6単位（3領域のうち1領域を選択し、当該領域の特論科目1科目2単位及び演習科目1科目4単位）の合計30単位以上を修得し、必要な指導を受けたうえで、修士論文を提出し、修士論文の審査に合格すること。

特定課題研究コース＜院内教育リーダー養成課程＞

強固な学的基盤と研究成果を基盤とし、病院・ケア施設内の教育を指導的立場で牽引できる高度看護教育実践者、すなわち、院内教育リーダー（Chief Nurse Educator＝C.N.E）を育成します。

特徴1

教育学、看護教育学・看護管理学を基盤とし、看護の現状に即した院内教育プログラムを立案・実施・評価できる能力の修得を目指します。

特徴2

リーダーシップ、組織運営について学習し、院内教育に関わる組織を編成し、組織構成員となる看護師に指導的立場で関わるために必要な能力の修得を目指します。

特徴3

看護基礎・卒後・継続教育など複雑さを増す病院実習を円滑に行うことができる実習フィールドマネジメントに必要な能力の修得を目指します。

特徴4

院内教育に関わる課題に着眼し、研究を通し、その課題を克服できる能力の修得を目指します。

■ カリキュラム

区分	授業科目	配当年次	単位数		授業形態
			必修	選択	
共通教育科目	生命倫理特論	1		1	講義
	健康管理特論	1	2		講義
	看護理論特論	1・2	2		講義
	看護倫理学特論	1・2	2		講義
	コンサルテーション論	1・2		2	講義
	フィジカルアセスメント特論	1・2		2	講義
	家族看護学特論	1		2	講義
	看護管理特論	1・2	2		講義
	データサイエンス	1		1	講義
専門教育科目	看護教育学特論	1	2		講義
	院内教育実践Ⅰ＜リーダーシップ論＞	1	2		講義
	院内教育実践Ⅱ＜教育プログラムの編成と研修の展開＞	1	2		講義・演習
	院内教育実践Ⅲ＜実習フィールドマネージメント＞	1	2		講義・演習
	院内教育実践演習Ⅰ＜院内教育プログラム開発と再編＞	1	2		演習
	院内教育実践演習Ⅱ＜研修計画の立案と実施＞	1	2		演習
	院内教育実習＜インターンシップ＞	2	2		実習
研究科目	看護研究方法Ⅰ	1	2		講義
	看護研究方法Ⅱ	1	2		講義
	特定課題研究	2	2		演習

■ 修了要件

必修28単位（共通教育科目4科目8単位、専門教育科目7科目14単位、研究科目3科目6単位）、及び選択2単位（共通教育科目2単位）以上、合計30単位以上を修得し、必要な指導を受けたうえで、特定の課題についての研究成果の審査に合格すること。

特定課題研究コース＜保健師養成課程＞

2025年4月、長野県で初となる
大学院に保健師養成課程を開設

長野県で初めての大学院における保健師養成課程を特定課題研究コースに設置し、
科学的根拠に基づいた高度な実践力を身につけた保健師を育成します。

特徴1 疫学データや保健統計等を用いて地域課題を分析し、
課題解決のための事業を企画・実施できる能力の修得を目指します。

特徴2 複雑化した多くの問題を抱える個別事例について
看護専門職として支援できる能力の修得を目指します。

特徴3 健康危機管理においてマネジメント力を発揮できる能力の修得を目指します。

特徴4 地域住民や多職種と協働して健康なまちづくりを担う
保健師としての能力の修得を目指します。

■ カリキュラム

区分	授業科目	配当年次	単位数		授業形態
			必修	選択	
共通教育科目	生命倫理特論	1		1	講義
	健康管理特論	1		2	講義
	看護理論特論	1・2	2		講義
	看護倫理学特論	1・2	2		講義
	コンサルテーション論	1・2		2	講義
	フィジカルアセスメント特論	1・2		2	講義
	家族看護学特論	1		2	講義
	看護管理特論	1・2		2	講義
	看護教育学特論	1・2		2	講義
	データサイエンス	1	1		講義
公衆衛生看護学科目	公衆衛生看護学原論	1	2		講義
	公衆衛生看護対象論	1	2		講義
	公衆衛生看護技術論	1	2		講義
	地域ケアシステム特論	1	2		講義
	公衆衛生看護活動展開論	1	2		講義
	公衆衛生看護活動展開論演習	1	2		演習
	健康危機管理論	1	2		講義
	学校保健･産業保健特論	1	2		講義
	ハイリスク事例支援論	1	2		講義
専門基礎科目	疫学特論	1	2		講義
	実践保健統計学	1	2		講義
	保健医療福祉行政特論	1	2		講義
	公共政策論	2	2		講義
臨地実習	公衆衛生学実習Ⅰ（基礎実習）	1	1		実習
	公衆衛生看護継続支援実習	1・2	1		実習
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（市町村保健所習）	1	2		実習
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業･学校保健実習）	2	1		実習
専門教育科目	公衆衛生看護学特論	1	2		講義
	保健医療情報学	1	2		講義
	公衆衛生看護マネジメント特論	2	2		講義
	事業施策化演習	2	3		演習
	公衆衛生看護マネジメント実習	2	2		実習
	公衆衛生看護マネジメント演習	2	4		演習
研究科目	看護研究方法Ⅰ	1	2		講義
	看護研究方法Ⅱ	1	2		講義
	特定課題研究	2	2		演習

■ 修了要件

必修57単位（共通教育科目3科目5単位、公衆衛生看護学科目･専門基礎科目･臨地実習と全て必修31単位、専門教育科目6科目15単位、研究科目3科目6単位）、及び共通教育科目選択4単位以上、合計61単位以上を修得し、必要な指導を受けたうえで、特定の課題についての研究成果の審査に合格すること。